

## ・文化の日

文化の日は、1946年11月3日に日本国憲法が公布されたことが由来になっています。「自由と平和を愛し、文化をすすめる」という日本国憲法の趣旨から1948年に制定された祝日です。もともと11月3日は、明治天皇の誕生日にあたる「明治節」であり祝日でした。皇居で文化勲章の授章式があり、芸術祭がこの日を中心に開催されます。晴天の日が多い気象上の特異日としても有名です。

# LiDAR(ライダー)スキャナのお話

毎年9月にapple社から新型iPhoneが発売されます。一番最上位モデルだと為替の影響もあり25万円程度になりますが、一体何ができるのか、それが気になりますよね。最新モデルにもiPhone 12 Proから搭載されていたLiDARスキャナが、今回のiPhone 15 Pro、iPhone 15 ProMaxにも引き続き搭載されています。このProモデルにしか搭載されていないというLiDARスキャナですが、一体何？必要？それで20万前後もスマホに使うの？と疑問に思うかもしれません。

そもそも、LiDARとは、

・LiDAR(ライダー)(英語:Light Detection and Ranging, Laser Imaging Detection and Ranging)Lidar あるいは LiDARとも表記される。「光検出と測距」ないし「レーザー画像検出と測距」は、光を用いたリモートセンシング技術の一つで、パルス状に発光するレーザー照射に対する散乱光を測定し、遠距離にある対象までの距離やその対象の性質を分析するものである。日本語ではライダー、ライダとカタカナ書きされることも多い。  
出典: フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』より

との事ですが、簡単に言えば、レーザー光の跳ね返りを元に距離を測る技術を使って3Dモデルを作成する技術を意味します。このLiDARスキャナですが、土木・建設現場での活躍が期待される技術の一つとして注目されているのはご存知ですか？LiDARスキャナ搭載のiPhoneが測量機として利用できるのです。複数の測点を歩きながらスキャン計測するだけで、誤差数%程度の3Dモデルがその場で作成できます。

地盤を扱う我々の現場でも、現場の高低差測量、面積測量、盛土土量計算など応用範囲は多岐にわたります。誤差数%の範囲で考えた場合、専用の機器導入コストや維持費、またそれを使用できる社員もしくは専門業者の手配などの工期面までも考えると、このLiDARスキャナ搭載のiPhoneがあれば、他現場の帰りの立ち寄りである程度解決ができる可能性がある、という事です。

高価なスマホですが、計測機器として利用できるのであれば『アリ』なのではないでしょうか。

最後におすすめアプリをいくつかご紹介します。

GPSで面積(無料)、測量 高さ計算(¥300)、測量 三角計算(角度・斜距離計算)(¥300)



元記事は新建ハウジング

## 第33回 今月もウォーキングにお付き合いください

三成 哲也  
の

# ウォーキング 日誌



10月22日鎌倉駅出発～由比が浜～稲村ヶ崎～江の島  
電車で鎌倉駅まで移動して鎌倉駅から江の島までウォーキング。

### 朝6時鎌倉駅

ほんのりと明るさが漂う、ここ鎌倉から江の島へのウォーキングは今年2回目だ。1回目は新年早々だった。半袖と長袖のTシャツを重ね着してきたが少しひんやりする。

少しずつ夜が明けていく。滑川の信号まで来た、正面は雄大な相模湾、遥か彼方にぼんやり見える島は大島か、東には逗子マリーナが見える。西は稲村ヶ崎に遮られて江の島は見えない。

この海を相模湾と呼ぶ人は殆どいないだろう。由比ヶ浜海岸、湘南海岸、この呼び方がごく自然であり分かりやすい。相模湾ではあまりにも広域すぎて分かりづ

らい。今まさに引き潮なのか、いつもより浜が広く、波打ち際までが遠く感じられる。

「引き潮」と言えば高校生の頃ヒットした洋画の題名でもある。孤島で男女のカップルが暮らす物語だったと思う。主演女優のカトリーヌ・ドヌーブがすごく綺麗だったのを覚えている。この相模湾も沢山の物語を作ってくれた。大学の仲間達との思い出も、子供達との思い出も、この湘南の海や、三浦海岸の砂浜、真鶴の岩にたたきつける波飛沫が沢山の物語を作ってくれた。自分にとって、海は思い出の宝庫でもある。

思い出を辿りながら歩いていくともう稲村ヶ崎まで来ていた。稲村ヶ崎の公園の真ん前に「メイン」というレストランがあったが、その半分が自分もよく知っているA社が入っていた。確か建築家との出会いから施工会社の決定までフンストップでサポートする会社だ。そのメインもお店の名前が替わっている。全然知らなかっただけにちょっと驚き。こんな好立地の場所にありながら閉店もあるのか、これも時代の流れと考えるべきか…。

メインというレストランには30～40年前に1度行ったことがある。当時はピアノの生演奏を聴きながらの食事ができて、カップルにとってはたまらない演出であったであろう。今年1月のウォーキングでは全く気付かなかった。何故かちょっとがっかりした気持ちになった。思い出の場所は今でも輝いていて欲しかった。ちょっと寂しい気持ちのまま江の島を目指す。

右手に鎌倉プリンスホテル、その先に七里ヶ浜高校その先辺りに料金所があった、今のセブンイレブン辺りか？遠い昔のことでよくは覚えていない。この134号線沿いには、逗子にも料金所があった。逗子の料金所は結構覚えていらっしゃる方がいるのでは？ちょっと変わったところでは湘南モノレールが通っている下の道も有料道路だった。当時の料金所は、ほったて小屋のような粗末なもので、車が来ると大きなま口財布のようなバックを首から下げているおじさんが出てきて、車を停めて集金をしていた。

昔の思い出に浸りながら歩いていくともう江の島の手前だ。江の島へと繋がる橋を渡り切ったところで今日のウォーキングは終了。

江の島着8時  
帰りは湘南モノレールで帰ろう。